

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和2年度)

調査表

施設名	県立視覚障害者センター
指定管理者	(公財)宮崎県視覚障害者福祉協会
指定期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日(3年間)
県所管部課	福祉保健部 障がい福祉課

1 施設利用状況

指標	R2	R1	H30	増減理由等
施設利用人数	4,616	3,884	4,171	・施設利用者数の増加については、施設利用に係る申請方法を、文書だけでなく電話や口頭による申請も受け付けるなど、施設利用者(視覚障害者)に配慮した取扱いを行った結果、利便性向上に繋がったのではないかと考えられる。 ・図書貸出人数は、前年度と同程度で推移している。
図書貸出人数	2,561	2,698	2,901	
図書貸出タイトル数	13,294	12,560	12,629	
コメ	・当面の状況としては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う施設利用者数の減少が予想されるが、施設提供サービスや催事の実施等をオンラインで行うよう工夫するなど、状況に応じた対応方針を検討する必要があると思われる。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R2	R1	H30	支出	R2	R1	H30
指定管理料	26,029	26,029	25,556	人件費	20,987	21,125	21,676
事業収益	69	100	223	備品・消耗品	1,106	1,721	406
雑収益	6	11	7	光熱水料費	920	1,084	1,093
				保険料	7	7	7
				その他	2,884	2,288	2,680
合計(①)	26,104	26,140	25,786	合計(②)	25,904	26,225	25,862
収支差額(①-②)	200	-85	-76				
コメ	その他の増額は点字ラインプリンタの全体点検によるもの。収支差額200,000円は実施予定であった点字図書館大会(研修会、交流会等)のイベント運営費であるが、中止に伴い令和3年度へ繰越となった。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和2年度に新たに組み込んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	専有部分の清掃は毎週金曜日。床洗浄ワックス塗布を定期に実施(共有部分は消費生活センター実施)
	保守・点検	各部屋の管理責任者ごとに建物・備品等、消防設備、電気設備、整理整頓・衛生維持の点検を毎月実施(消防施設等については、消費生活センターが実施)
	警備	3階消費生活センターによる夜間・休日の常駐警備
	修繕	備品・設備点検を随時実施
	備品等管理	備品台帳に基づく点検(年1回)
	安全対策	・センター利用者に対する賠償責任保険の加入 ・来訪者及び職員に対する避難訓練、消火訓練の実施
	その他	こまめに消灯等を行い、節電、節水に努めた。
企画運営業務	サービス提供体制整備	①土曜、日曜は交代勤務制で対応しており、利用者の利便性を図った。 ②偶数月にセンターだよりの発行 ③満足度調査(10月1日～11月20日)
	イベント等ソフト面充実	・令和2年度のイベント等は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、軒並み中止や延期となった。 ・IT関連情報機器の操作支援相談会の定期開催
	施設設備等ハード面充実	・OA室電気スイッチ、事務室空調設備取替 ・OA室空調設備、カップリングカッターの修理
	その他	・センターの利用拡大を図るキャラバン事業については、該当市町村と調整がつかず実績無し
管理運営体制	新型コロナ感染拡大防止策として、パーティション設置や検温、ドア・机等の消毒を実施	
コメント	協定書に基づき、適切な管理が図られている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	令和2年利用者満足度アンケート(令和2年10月1日～11月20日)	
	調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
センター利用の状況について		図書や雑誌の貸し出しについては9割の方から満足しているとの意見があった。また、視覚障がいの方が利用する点字・音声等によるセンターだよりや県・市広報などの情報支援ツールについても、9割以上が満足しているとの意見があり、センター利用状況としては概ね良好であると考えられる。
福祉機器展の運営について		生活情報やIT機器等の利用について参考になったり、県内の多くの人が集まり交流ができるといった意見があった。実物を手で触れて体験できることで、障がいに対する理解をより深めることができる良い機会となっている。
センター職員の対応について		「満足している」「ほぼ満足している」を合わせると9割の方から良い評価を得ている。センター職員のみならず、警備員の方も声かけするような雰囲気となっており、利用者の利用満足度に繋がっている。

5 総合評価

評価コメント	基本協定に沿って適正な業務が行われている。
今後の課題と対応	利用者のニーズを的確に把握するとともに、視覚障害者センターのサービス内容を幅広く周知し利用者の増加に繋げることが必要になる。また、センター内における新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応についても、継続して行う必要性がある。